

編集・発行 / 愛知県教育委員会生涯学習課
生涯学習推進センター
〒460-0001 名古屋市中区三の丸三丁目2番1号
(愛知県東大手庁舎2階)
TEL 052-961-5333 FAX 052-961-0232
URL <http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/shogai/llcenter/>



かすがいしとうふうきねんかん
【春日井市道風記念館】

平安時代の三跡の一人、小野道風(894~966)が生まれたと伝えられる春日井市では古くから書道が盛んで、「書のまち春日井」と呼ばれています。昭和56年に開館した春日井市道風記念館では、道風筆と伝えられる平安時代の古筆から、現代書家の作品まで約2,200点を収蔵し、春・秋の特別展を始めさまざまな書の展覧会の開催、書に関する講座などの事業を行っています。

特集

平成15年度地域開催講座

I N D E X [目 次]

特集 地域開催講座のご案内

生涯学習への想い:名古屋大学副総長 奥野信宏氏
講座・講習会情報
イベント情報
クローズアップ
ネットワーク機関の横顔
愛・地球博ニュース
ボランティア活動紹介
公民館活動紹介:安城市

生涯学習への想い

名古屋大学の社会連携（貢献）について

名古屋大学では、平成 12 年 2 月に大学の基本理念であり、長期目標でもある「名古屋大学学術憲章」を制定しました。「名古屋大学学術憲章」は、4 つの大きな項目を掲げておりますが、その中に「社会的貢献の基本目標」を重要な項目としてあげております。そこでは、大学が先端的な学術研究と人材育成を通じて人類の福祉と文化の発展および産業に貢献すること及び名古屋大学の立地する地域社会の特性を生かし、多面的な学術研究活動を通じて地域の発展に貢献し、かつ国際的な学術連携および留学生教育を通じて世界とりわけアジア諸国との交流に貢献することがうたわれております。

名古屋大学は、「名古屋大学学術憲章」の制定を機にその理念を実現すべく、学内で社会連携（貢献）のあり方について検討を進めるとともに、学内での社会連携（貢献）の実態を調査いたしましたところ少なからずの教員が個々に地方自治体やボランティア団体と連携を進めていることが判明いたしました。しかし、これらの取り組みに対し大学の組織としての対応ができていなかったため、せっかくの社会貢献にもかかわらず社会への浸透が不十分な状態でありました。

このような調査結果を踏まえ、さらに学内で検討を進めた結果、社会連携を実行あるものとするため、学内の体制を整備し社会連携推進室を設置しました。それと同時に社会連携（貢献）に関する事業協力や地域社会における交流を通し、地域貢献を図るためのシステムとして愛知県および名古屋市との間に社会連携連絡協議会の設立をお願いし実現いたしました。協議会では名古屋大学の取り組みを説明させていただきその連携を深めるとともに、地域社会からのニーズを大学に投げかけていただいています。この実績により、全国の国立大学の中で先駆的な試みとして平成 14 年度には文部科学省の地域貢献特別支援事業として選定されました、その中で具体的な取り組みとしては、愛知県との共同事業として「高齢者の排泄を改善する事業」、「東海地震・東南海地震に対する防災ホームドクター計画」、「高校と大学との連携」等があり、また、名古屋市との共同事業として「脳卒中患者の救急医療情報ネットワーク確立事業」等があり、実績を着々と挙げております。その他に県内のいくつかの自治体と連携を図り事業を進めております。

その他にも、名古屋大学独自の社会連携（貢献）の一貫として以前から全学並びに多くの学部・

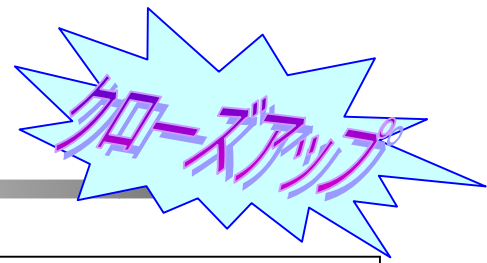


研究所等が公開講座を開催し、地域の皆さんの生涯学習の一助とさせていただいております。

名古屋大学は、今後とも「学術憲章」の基本理念に基づき、社会連携連絡協議会を通して、地元自治体等の意見や住民のニーズを積極的に採り入れるとともに、大学の総合窓口としての社会連携推進室に寄せられたご意見も参考に、社会連携（貢献）の充実を図っていく所存です。

名古屋大学副総長 奥野信宏

四季を愉しむ～まずはあなたのお庭から～



緑の鮮やかな季節になりました。疲れたとき、目に飛び込んできた草花たちにふと安らぎを感じる方も多いことでしょう。世情を反映してか、ここ数年「ガーデニング」がブームです。しかし、園芸店へ行って見たものの何をどう選んでよいか分からない、せっかく植えたのに枯れてしまった・・・そんな経験をお持ちの方も多いかと思えます。

ガーデニングと言いますと、まずイギリスなどの美しい庭園風景を思い浮かべますが、ここは日本。やはり日本の気候風土に合った草花を選ばなくてはなりません。また、建物や周囲の植物にあわせた色彩バランスを取ることも大切です。

愛知県緑化センターではガーデニングをより身近に、気軽に生活に取り入れていただくよう、年に数回ガーデニング、コンテナガーデン、ハンギングバスケットなどの講座を実施しています。中でも「ガーデニングの愉しみ方」という講座では、季節と目的に応じてどんな草花を選んだらよいか、管理方法、増やし方、デザインをスライドなどにより分かりやすくご説明します。開催時期は春と秋の2回。次回の秋の講座では来春まで楽しめるガーデニングをご紹介します。是非ご参加ください。



こんなイベント ガーデニングの愉しみ方

日 時:平成 15 年 9 月 15 日(月)
13 時～15 時 30 分
講 師:中日園芸文化協会理事
杉本仙一氏
定 員:30 名
参 加 費:無料
申込期間:H15.7.1～H15.9.1

緑化センター管理事務所
西加茂郡藤岡町大字西中山山猿田 21-1
TEL:0565-76-2109(指導課)

いつまでも健康でいたいから



愛知県では、健康づくりの行動計画である「健康日本21 あいち計画」を策定し、県民一人ひとりが健康を増進し、改善すべき生活習慣の目標を掲げて21世紀の健康づくり運動を推進しているところですが、その一環として、あいち健康プラザでは、健康づくりに関する様々な情報を発信しています。

県民の皆様にご自身自身の健康を考えていただくために、昨年度から年6回の健康公開講座を開催しています。毎回生活習慣に関するテーマで講座を行ったところ、大変好評をいただきました。

今年度は、昨年参加していただいた皆様のご意見を参考に、より生活に密着したテーマで開催しています。次回7月24日の「長寿と遺伝・生活習慣」は、長寿者の遺伝子の特徴や、どんな生活習慣が長寿と関係するのか、男女別に示します。9月25日の「腰痛予防のための正しい運動とコツ」は、腰のしくみと腰痛との関係をわかりやすく解説します。また腰の筋肉を強化する運動のコツと、腰痛予防のための正しい姿勢、日常生活での注意点などをお話しします。

皆様の参加をお待ちしています。



こんな講座

平成15年度健康公開講座

日 時:7月24日(木)、
9月25日(木)、
10月23日(木)、
11月27日(木)
各日13時30分～15時30分
定 員:各253名

(要予約・先着順)

参 加 費:無料

申込期間:前日まで

図書館の歩みと共に はや20年

阿久比町の小高い丘の中腹に、昭和58年図書館が建設されました。館内には、児童・親子閲覧室があり、その一角にお話コーナーができました。町はこれを機に図書館ボランティアを募集し、第1期「あすなる」2期「かざぐるま」3期「ぶんぶん」と称し、各グループで読みきかせ等の活動をしました。平成元年に統合し、「読書指導グループ ぶんぶん」と名を改め、現在に至っています。

祝日と毎週日曜日の午前11時と午後2時30分、第1・3土曜日の午後2時30分からの30分間、お話コーナーにて子供たちに絵本や紙芝居などの読みきかせをしています。時には子供たちからの「これよんで!」とリクエストもあり、楽しいひとときです。

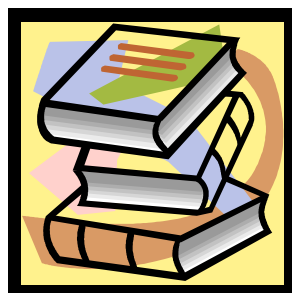
また、年間を通して大きな活動が2つあります。1つは、7月に図書館で行われる“おたのしみ会”です。内容は、人形劇や大型絵本、OHP、ロール絵本、パネルシアター、ストーリーテリングなど多彩で、毎年3~4作品を作りあげ、練習し、本番にのぞんでいます。大勢の人に来てもらい大好評です。私たちメンバーもそれを励みに準備しています。2つめは、秋以降町内の小学校・保育園で公演することです。主にその年のおたのしみ会の作品を演じますが、みる子供たちの年齢層を配慮して多少作品を変えています。

ぶんぶんは現在34名。気持ちはいつまでも若いエネルギッシュな女性ばかりです。毎週火曜日図書館で活動しています。子供たちのお話を聞くとときの輝く目に支えられ20年。これからも勉強を続けながら向上していきたいと思っています。



読書指導グループ

代表者 : 岡戸 美香
活動場所 : 阿久比町立図書館
連絡先 : 阿久比町教育委員会
社会教育課
TEL 0569-48-1111





千田 美佐子

活動場所：公民館、学習等
用施設 他
連絡先：扶桑町教育委員会
生涯学習課
TEL 0587-93-5200

平成7年度愛知県教育委員会主催の「子育てネットワーク-養成講座」を受講しました。しかし当初自分に何ができるか、どうしたらよいのかわからなく、まず近隣の市町の仲間（子育てネットワーク-尾張北）と情報交換したり活動している市町に見学に行っていました。4～5年前より近隣の託児ボランティア、犬山市幼児教育の講座の中でのグループトーク・リーダー、扶桑町子育て支援センターに週1回お手伝い、おもちゃ図書館のボランティアをしています。昨年やっと扶桑町に仲間ができ念願だった子育てサークル支援ができるようになりました。仲間と楽しく意見交換や支援に関する練習をしています。支援に行くと子ども達の楽しそうな顔やお母さん方のあたたかい笑顔にふれられる事ができ幸せを感じます。また扶桑町での託児も今年初めてできました。これから仲間と一緒にもっと何ができるか考えながら、楽しく子育て支援をしていきたいと思っております。

ボランティア活動紹介

子育てネットワーク-編

親子ふれあい広場

幸田町には子育てネットワーク-という、県の養成講座を経て、自らの子育て経験を活かしてボランティア活動をする人達が22名います。その活動の主たるものに、春と秋の『親子ふれあい広場』があります。

7年前から行政とタイアップして始まった、未入园児を持つ若いお母さんたちをサポートする事業です。その内容は“はじめましての会”から始まり“お散歩”“運動会”“泥んこ遊び”“七夕”など、季節に合わせたさまざまな遊びを親子で楽しめるように、ネットワーク-がいろいろ工夫して編み出しています。お陰様で毎回多数の方の応募があり、うれしい悲鳴を上げている状態です。

今年度は、春の木曜日と金曜日にそれぞれ11回、秋には木曜日のみ8回を、各25組の親子を対象に、また12月には春の部、秋の部の合同クリスマス会を行う予定です。親子のふれあいの架け橋になればとの思いが、活動の原動力です。



竹内 朗江

活動場所：幸田文化広場
さくら会館
連絡先：幸田町教育委員会
生涯学習課
TEL 0564-62-1111
(内線 413)

特色ある公民館活動の紹介

～ 安城市 ～

安城市文化センター

「安城市民公開講座」

この講座はリカレント教育の一環として企画したもので、

- ・ 愛知学泉大学コミュニティ政策研究所
- ・ 岡崎国立共同研究機構
- ・ テクノプロス（豊田中央研究所OBが設立した社会貢献をめざした技術支援チーム）

との産・学による協働講座を開催しています。



平成14年度市制50周年記念事業で開催したところ各企業の管理職や専門研究職・経営者・医師・医療関係者等が多く受講し、また、安城市で東京大学医学部及び東京大学大学院理学部の授業が講師の協力により開講できたため大変好評で、次年度も継続して開催の要望が多くありました。このため、今年度から一般教養コースと理工系専門コースとに分け、希望者には双方受講できるようにしました。

特に理工系専門コースは、世界最先端の情報が取得できるよう配慮し、世界をリードする技術を持つ地場産業である自動車産業が必要とする知識・情報を受講者へ提供し、活用できるようにし、また将来に向け夢と希望を与えることを願って計画しております。



桜井公民館

「矢作川くだり」

安城市の東を流れる矢作川。

桜井公民館のある桜井地区は安城市でただ一箇所矢作川に接しています。この地区は古くから矢作川が生活に深くかかわっている歴史のあるところです。

その母なる川でなにか出来ないものかと考えました。川への親しみや愛着を深め、身近な自然の素晴らしさと大切さを知ってもらおうと、地元住民有志による協力のもと、「矢作川くだり」を行うことになりました。

自動車のタイヤチューブ、発泡スチロール、ペットボトル、竹などを使って、川を汚さないように、環境に配慮した手作りのイカダで、矢作川を下るわけです。



毎年8月の第2土曜日の大変暑い中の開催で、川幅が広く水量、深さも浅いため、イカダを押したり引っ張ったりと悪戦苦闘もありますが、のんびりと2時間かけて川を下ります。

川を吹く風はとてもさわやかで、気持ちもゆったりとし、とても幸せな気分になります。

皆さんも、「矢作川くだり」で身近な大自然を満喫しに来てみませんか。



南部公民館

「どろんこまつり」

私たちの安城南部公民館は、安城市の南端でかつて日本のデンマークと呼ばれていた田園地帯にあります。しかし、この地域でも、農業の機械化、用水の暗渠化で子供が田に入り、小川で魚取りをする光景がすっかりなくなってしまいました。

そこで、子供達に土と水の感触を知ってもらい、自然との触れ合いを深めてもらう行事はないかと考え、公民館の周りの田んぼを使用する「どろんこ祭り」を計画しました。コシヒカリの収穫が8月末に終わるので、収穫後の田んぼを借り、トラクターで耕し、水を張った水田が会場になります。種目は親子ボート引き・綱引き・泥んこボールけり・ビート板を使うのムツゴロウ・近くの建設会社からクレーン車を借り、ロープを使って水田の中へ飛び込むターザン・最後に全員参加のうなぎつかみは約300匹のうなぎを水田の中に放し、素手でつかみます。



泥まみれになりながらも皆さん一生懸命です。この「どろんこ祭り」は毎年9月の第2土曜日に行います。ぜひ参加して土と水の感触と親子のふれあいを深めてください。



生涯学習推進センターからのお知らせ



学習サークルに登録してみませんか？

生涯学習推進センターでは、生涯学習に取り組んでいる団体、個人の皆様に学習成果の発表や交流を通して、学習効果を深めていただくための場を提供しています。

学習サークルに登録すると

- センターの情報ラウンジを使って作品等の展示ができます。
- センターの各部屋を使っての学習成果の発表ができます。(使用料：無料)
- センターの情報を中心に、生涯学習に関する情報をFAX等でお届けします。
- 大学公開講座等のビデオやディスクなどの学習教材を借りることができます。

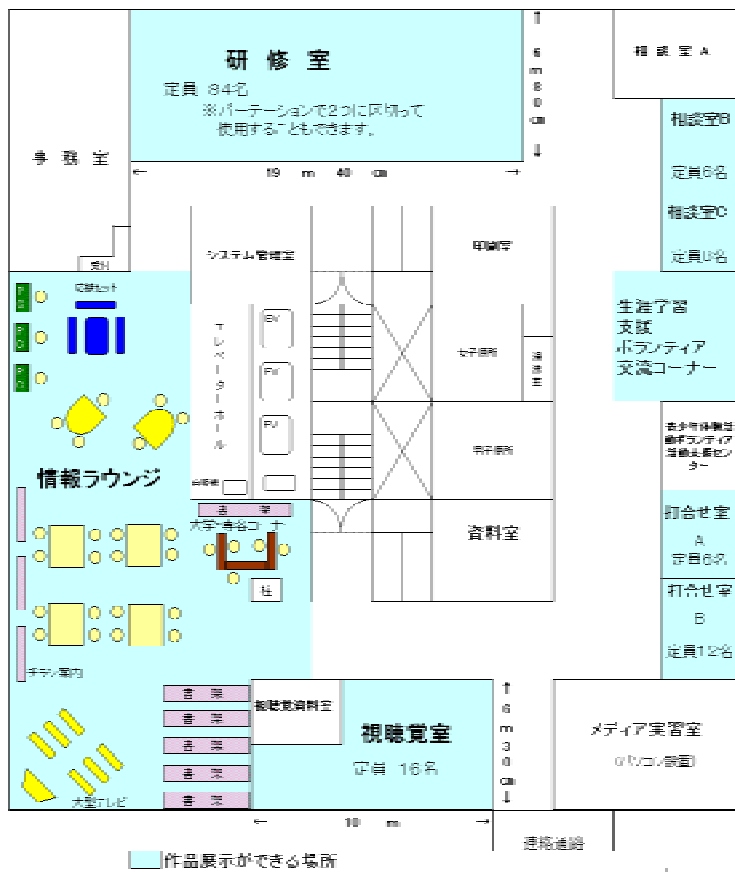
登録方法は

所定の登録申込み用紙に必要事項を記入し、郵送、もしくはFAXで送ってください。

申込先 〒460-0001
名古屋市中区三の丸三丁目2-1
愛知県生涯学習推進センター
FAX 052-961-5333

インターネットでも申し込みます。
<http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/shogai/llcenter/>

生涯学習推進センター 平面図

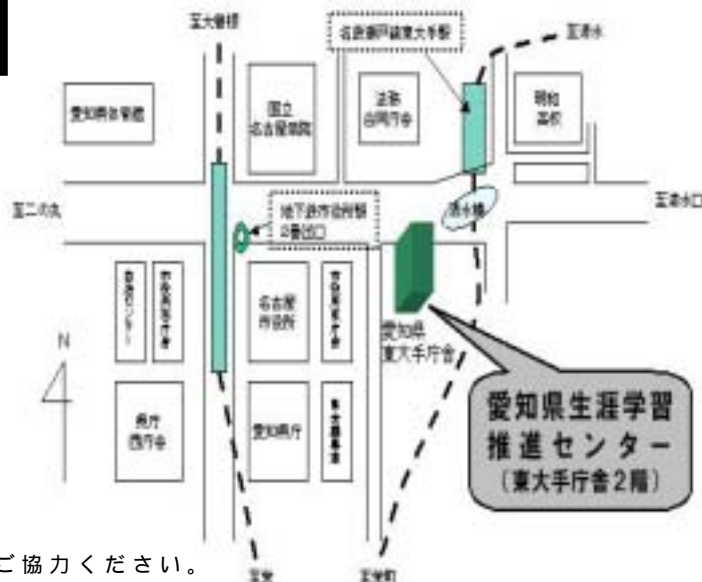


愛知県生涯学習推進センター

- 開館時間 9:00 ~ 21:00
- 休館日 日曜・年末年始
- 電話 052-961-5333
- FAX 052-961-0232
- Eメール syogaigakushu@pref.aichi.lg.jp
- 交通のご案内

地下鉄「市役所」駅2番出口東へ徒歩約3分
名鉄瀬戸線「東大手」駅南へ徒歩約4分
基幹バス「市役所」下車東へ徒歩約5分
駐車台数に限りがありますので、公共交通機関のご利用にご協力ください。

ホームページ <http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/shogai/llcenter/>



愛知のまち ～ 幸田町 ～



『こうた夏まつり・2003 こうた夏フェスタ』

楽しかった夏休みも、あとわずかとなった八月下旬に、幸田町の夏の一大イベント『こうた夏まつり』が開催されます。

会場の南を流れる光明寺川では、魚手づかみ大会の「ザ・ボンツク」が、イベントのオープニングを飾ります。岩の間へもぐりこんだうなぎや小魚をたくさん子どもたちが胸まで水につかって捕まえます。網は使用禁止なので、みんな水浸しになりながら悪戦苦闘しています。

会場の中央部に位置する芝生広場では、おまつりにはつきものの屋台コーナーを、地元商工会や学区コミュニティ、福祉団体などが運営しています。プリクラコーナーなど地元企業協力イベントや交通指導員によるちびっ子警察官など、趣向を凝らした催しもあり、子どもたちの定番である輪投げやふわふわ遊具などのゲームコーナーなどで、一日たっぷり遊べるプログラムとなっています。

屋外ステージでは、キッズダンスチームやロックバンドが日ごろの練習成果を発揮するフリーステージ、家族連れに大人気の仮面ライダーショー、文化協会会員を中心とした盆踊り大会が繰り広げられます。仮面ライダーショーのなかでは、来場者から選ばれた浴衣美人の発表もあり、受賞者はびっくりしながらもショーに参加しています。浴衣で来場の女性の方には、ライダーと仲良くなるチャンスが待っているかもしれません。

お祭りの最後は、花火大会で締めくくります。煙火愛好会による三河地区伝統の手筒花火が勇壮に火の粉を巻き上げ、手筒の底が抜ける轟音に、観衆からどよめきが起こります。つづいての打ち上げ花火では、大小、色とりどりの花火が、夏の夜空を彩ります。頭上に咲いた花火の輪が消えるころには、夏の終わりを告げるような涼しげな風が会場を包み、お父さんの背中で眠る子どもの姿が見受けられます。




いきいきあいちっ子キャンペーン
イメージマーク

編集・発行 / 愛知県教育委員会生涯学習課 生涯学習推進センター

平成 15 年 7 月 10,000 部発行

〒460-0001 名古屋市中区三の丸三丁目 2 番 1 号 電話 052-961-5333

 愛知県